

施策名：変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた学びの輪推進事業	社会教育課	2 / 3
放課後・土曜学習支援事業	社会教育課	3 / 3

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	おおいた学びの輪推進事業		事業期間	平成 21 年度～平成 27 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
				施策区分	変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援		
総合評価	<b>C</b>	<b>終了</b>	事業実施課(室)名	社会教育課		評価者	社会教育課長 曾根崎 靖

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民の誰もが生涯にわたって学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の構築と地域が抱えている様々な課題の解決に向けて行動する人材の育成が求められている。しかしながら、地域によって学習機会の提供状況に大きな格差があるとともに、地域づくりを担う人材育成やその体制づくりなどの具現化を図る取組が不十分である。	事業の目的	県民一人一人の生涯を通じた学びの支援と学びの活動を通して、地域づくりに主体的に参画する地域住民の意識を涵養し、地域住民が主体となった地域づくりを推進する機運を醸成する。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①ふるさと学講座 大分の歴史・文化・自然についての学習(6コース、156人) ②ふるさとサポート講座 地域ボランティアの育成(5コース、延べ581人) ・おおいたっ子サポート(子どもに関わる地域活動サポート学習) ・地域づくりサポート(地域の課題解決に関わる地域活動サポート学習) ③おおいた学びフェスタ 特別講座や実践事例発表(4回、298人) ④拡大・連携講座 県の各部局や市町村、大学等が実施する学習機会情報の提供		・文部科学省・東京大学・「長寿社会における生涯学習政策フォーラム2015in大分実行委員会」の三者共催により「おおいた学びフェスタ」を開催し、行事内容の拡充及び参加者増を達成	総コスト	18,424	18,786	
			事業費	7,424	7,786	
			(うち一般財源)	6,690	7,161	
			人件費	11,000	11,000	
			職員数(人)	1.10	1.10	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								おおいた学びフェスタ参加者数(人)	目標値
	実績値	132	298	298					
	達成率	38.8%	59.6%	59.6%					
受講者の講義満足度(%)	目標値		80	80					
	実績値		99	99					
	達成率		123.8%	123.8%					

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								「はばたきのノート」交付者累積数(人)	目標値
	実績値	183	217	217					
	達成率	101.7%	103.3%	103.3%					

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・事業目的が達成されたため、終了				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	放課後・土曜学習支援事業		事業期間	平成26年度～平成28年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
				施策区分	変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	社会教育課		評価者	社会教育課長 曾根崎 靖

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	子どもたちの基本的な生活習慣、学習・運動習慣の定着や豊かな心を育むため、地域住民参加の「放課後チャレンジ教室」と「土曜教室」を支援してきたが、教室設置に至らない地域もある。また、学校・家庭・地域の連携による放課後や土曜日等の教育環境のさらなる整備が全国的に求められている。	事業の目的	学校・家庭・地域の協働を推進するための「協育」ネットワークを各地域に構築し、地域による放課後等を活用した学習活動や様々な体験活動を支援することにより、学習習慣の定着と心豊かで健やかな子どもたちの育成を図る。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①放課後チャレンジ教室(年40日を標準) 市町村が放課後に補充学習に力点を置き体験活動等を実施する経費を補助【国1/3】 実績：17市町村171教室(対象学校数：小187校) ②土曜教室(年20日を標準) 市町村が土曜日等に補充学習と体験活動をバランスよく実施する経費を補助【国1/3】 実績：14市町村117教室(対象学校数：小173校、中35校) ③「協育」ネットワーク支援者研修会 子どもと関わる支援者の資質向上のための研修会(2回)	・各市町村で実施した取組事例集の作成	総コスト	50,159	55,025	84,248
		事業費	40,159	45,025	74,248
		(うち一般財源)	20,087	21,970	37,164
		人件費	10,000	10,000	10,000
		職員数(人)	1.00	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(28年度)	評価	今後の課題
	放課後チャレンジ教室の支援者数(人)	目標値		1,236	1,854	1,854		
実績値			1,851	2,196				
達成率			149.8%	118.4%				
土曜教室の支援者数(人)	目標値		632	1,422	1,422	1,422		
	実績値		1,317	1,715				
	達成率		208.4%	120.6%				

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果
	放課後チャレンジ教室及び土曜教室に参加した児童生徒数(人)	目標値		7,520	11,411	12,012		
実績値			10,952	11,229				
達成率			145.6%	98.4%				

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

### 今後の事業方針

- ・補充学習の充実に向けて、大学生等の参加を促進
- ・地域の実情に応じた放課後や土曜日の補充学習や体験活動の機会を拡大するため、企業・大学・団体等への連携協力の呼びかけ
- ・研修内容の充実を図るため、こども未来課や社会教育総合センター等との連携を強化
- ・地域の子どもたちとの関わりを継続し、指導者自身の生きがいづくりや、地域コミュニティの再構築を促進